



研修・イベントレポート

関西中医学ネットワーク 第2回「サマー交流会」参加記

鍼灸学科 31期 昼間部 武安杏子

昨夏の第1回に引き続き、今夏も関西中医学ネットワーク(KTCMN=Kansai Traditional Chinese Medicine Network)第2回「サマー交流会」が8月5日から7日まで、滋賀県のコテージ琵琶湖で開催され、関西の鍼灸学校を中心に計12校、約80名の学生が集まりました。

1日目は全体講義1コマ、各学校のクラブ活動発表、分科会(3グループに分かれての講義)。2日目は全体講義が1コマと、さらに中医弁証の問題を用いたオリエンテーリングがあり、学校や学年の枠を外した5人1組のチームを作り、みんなで協力し合って解答を考えつつ敷地内を右往左往。またその一方で、「関西中医学専門家交流会」が同時開催され、各学校の先生方同士、学生代表同士でそれぞれ情報や意見の交換をしました。夜には懇親会があり、1次会はバーベキュー、2次会は各自室内で思い思いに集まり交流を深めました。3日目は全体講義が2コマで、どちらも普段の授業では聴けないような広くて深い内容でした。



今回は、仕事の都合で初日は参加できず、残念でしたが、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。最後に、東京から中医学ネットワーク(TCMN)事務局長の瀬尾港二先生が来られており、来年は関東・関西共同開催といううれしいお知らせがありました。皆さんもぜひ一度ご参加ください。

大阪府学校教職員研修支援夏期セミナー

教務部 清水尚道

今年で4年目になりますが、今年度も夏休み期間中の8月22日から24日にかけて大阪府内の高校・中学校・小学校・幼稚園・盲学校・聾学校・養護学校等に勤務されている現職教職員の方が対象の夏期セミナーを開講しました。

テーマは「東洋医学にみる健康管理と応急手当」で、「健康管理」では生活の中にとけ込んでいる東洋医学を改めて実感していただき、日常にフィードバックしていただけるような講義や、視点を変えて動作を観察してみると様々な問題点がみえてくるといった講義が行われました。また、「応急手当」では、一般の方が「できること」と「するべきではないこと」を説明しながら、的確な対応の重要性を示唆する講義・実習が行われました。

今年度も参加された皆さんが熱心に耳を傾けておられる姿が印象的でした。



平成18年度 高野山で剣道部夏合宿

剣道部 川鍋史一



今年で5回を数える恒例の夏合宿を8月12、13日の二日間にわたって、高野山大学体育館で実施いたしました。昨年から、港区の「三先剣友会」との合同合宿になり、今回は総勢14名(三先剣友会8名・森ノ宮6名)で、

蝉時雨の中、観光客で賑わう「世界遺産」の霊山で技を磨きました。

「三先剣友会」は、以前、指導に来ていただいていた梶木昭三七段師範のおられる道場で、参加されている方々は全て五段以上…普段は指導に当たられている先生ばかり…怖～。稽古中は勿論のこと、夜遅くまで熱のこもった剣道談義に花を咲かせる強者たちに、未熟な森ノ宮医療学園剣道部員は若干萎縮気味になりながらも、2回稽古をつけていただきました。……クタ、クタ……。



今回は在校生3名、卒業生3名の参加でしたが、来年は、在校生の参加人数を増やして夏合宿に挑みたい!と祈願しつつ、涼しい霊場をあとにしました。

※剣道部稽古日:毎水曜日午後9時より本校舎7階講堂。試験期間中はお休みです。